

<取材のお願い>

2023年6月23日

九州大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

**トルコ、ヨルダンの高校生がバイオテクノロジーの最先端研究を体験
～ 国際的頭脳循環を目指した、九州大学による日本留学促進活動 ～**

九州大学では、7月2日（日）～7月8日（土）、MEF インターナショナルスクール（トルコ）と、キングスアカデミー（ヨルダン）から、高校生7名、教員2名、計9名を招き、科学技術体験コースのプログラムを実施します。

本学は文部科学省の委託事業「日本留学海外拠点連携推進事業」の中東・北アフリカ担当拠点として優秀な学生の獲得のため日本留学の促進活動を行っています。同地域の学生の留学先は依然として欧米諸国が主流で、日本留学に関する認知度は未だかなり低い状況にあります。そこで今回、優秀なトルコとヨルダンの高校生たちを実際に日本に招き、本学と日本の魅力を伝え、留学への布石とすることを目的としたプログラムを実施することとしました。

今回、招へいする二カ国では、バイオテクノロジー関連分野への関心が高まっています。この背景として、トルコには農業を一つの重要な産業としているという事情が、ヨルダンには土地や水といった資源の不足に悩まされているといった事情があります。一方、本学では医学・生物学・化学・工学など様々な分野においてバイオテクノロジーに関する研究がなされており、近年では学問分野の枠を超えた研究も行われています。本プログラムでは、本学の複数の研究室での模擬講義、実験などを通して、招へい高校生たちにバイオテクノロジー関連分野における世界トップレベルの教育に触れてもらいます。また、福岡市立福岡西陵高等学校での高校生との交流、博多町家ふるさと館での博多人形絵付け体験などの機会も設けております。本プログラムが招へい高校生達の将来の進路選択に良い影響を与え、ひいては日本との良き架け橋になってくれることを期待しています。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。

<https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、招へい高校生たちが本学研究室や各訪問先にて、先端研究を体験する様子、日本文化を体験する様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。

なお、参加者をはじめ、実施担当の沖祐太郎特任准教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

【実施内容】

- キャンパスツアー、意見交換会
- 福岡市立福岡西陵高等学校訪問（模擬講義、学校見学、学生交流）
- 日本文化・博多伝統工芸体験（博多人形絵付け体験）
- 模擬講義、研究室訪問（農学研究院、工学研究院、総合理工学研究院）
- 成果報告会

【研修日程概要】

7月2日（日）	午後：入国、福岡着
7月3日（月）	午前：オリエンテーション 午後：キャンパスツアー、意見交換会
7月4日（火）	午前：福岡市立福岡西陵高等学校訪問（模擬講義、学校見学、学生交流） 午後：福岡市立福岡西陵高等学校（文化体験） 博多町家ふるさと館訪問（博多人形絵付け体験）
7月5日（水）	午前：模擬講義（農学研究院） 午後：研究室訪問、体験科学実験（農学研究院）
7月6日（木）	午前：模擬講義（工学研究院） 午後：研究室訪問、体験科学実験（工学研究院）
7月7日（金）	午前：模擬講義（総合理工学研究院） 午後：模擬講義、体験科学実験（総合理工学研究院） 成果報告会
7月8日（土）	午前：トルコ 離日 午後：ヨルダン 離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

九州大学国際部国際戦略企画室（J-MENA オフィス）・特任准教授
担当：沖 祐太郎

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室
（担当：田中(禎)、太田）